

# 公共事業再評価調査

整理番号 H25-6

担当部課名	県土整備部 道路課	電話番号	017-734-9651
		E-MAIL	doro@pref.aomori.lg.jp

再評価実施要件  未着工  長期継続 ( 年)  再評価後 ( 5 年)  その他 ( )

## 1 事業概要

事業種別	道路改築事業	事業主体	<input checked="" type="radio"/> 県 <input type="radio"/> 市町村 <input type="radio"/> その他 ( )																																																		
事業名	県道改築事業	地区名等	水喰上北町停車場線 甲地	市町村名	東北町																																																
事業方法	<input type="radio"/> 国庫補助 <input checked="" type="radio"/> 交付金 <input type="radio"/> 県単独 財源・負担区分 <input checked="" type="radio"/> 国 65 % <input checked="" type="radio"/> 県 35 % <input type="radio"/> 市町村 % <input type="radio"/> その他 %																																																				
採択年度	平成 11 年度 ( 用地着手 平成 16 年度 / 工事着手 平成 19 年度)																																																				
終了予定年度	平成 28 年度 ( 平成 22 年 11 月 工期変更 (再評価時 平成 23 年度)																																																				
事業目的	<p>一般県道水喰上北町停車場線は、上北郡東北町(旧東北町) 水喰地内の一般国道394号を起点とし、同町上野地内で主要地方道八戸野辺地線と重用し、JR東北本線上北町駅に至る地域の生活道路であるとともに、三沢空港からむつ小川原工業基地へのアクセス機能を有する道路である。当該区間は、人家連担、急勾配で道路線形が悪いことから交通の隘路となっている。このため、安全で円滑な交通の確保を目的としてバイパス事業を実施している。</p> <p>【計画名称】 社会資本総合整備計画 (交流促進と連携強化を支援するあおもりの道づくり)</p> <p>【成果目標】 交通拠点から60分以内に到達できる地域に居住 (交流できる) 人口を8千人増加 観光地から60分以内に到達できる地域に居住する (交流できる) 人口を42千人増加</p>																																																				
主な内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>再評価時</th> <th>再々評価時</th> <th>増 減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画延長</td> <td>2,200 m</td> <td>2,200 m</td> <td>0 m</td> </tr> <tr> <td>計画幅員</td> <td>6.0(11.5) m</td> <td>6.0(11.5) m</td> <td>0 m</td> </tr> <tr> <td>改良工</td> <td>2,200 m</td> <td>2,200 m</td> <td>0 m</td> </tr> <tr> <td>舗装工</td> <td>22,000 m<sup>2</sup></td> <td>22,000 m<sup>2</sup></td> <td>0 m<sup>2</sup></td> </tr> </tbody> </table> <p>事業計画については再評価時と比較して変更はないが、軟弱地盤に起因する路床部の支持力不足への追加対応 (セメント安定処理等) や舗装構成の見直し等により総事業費が増額となっている。</p>					区 分	再評価時	再々評価時	増 減	計画延長	2,200 m	2,200 m	0 m	計画幅員	6.0(11.5) m	6.0(11.5) m	0 m	改良工	2,200 m	2,200 m	0 m	舗装工	22,000 m <sup>2</sup>	22,000 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>																												
区 分	再評価時	再々評価時	増 減																																																		
計画延長	2,200 m	2,200 m	0 m																																																		
計画幅員	6.0(11.5) m	6.0(11.5) m	0 m																																																		
改良工	2,200 m	2,200 m	0 m																																																		
舗装工	22,000 m <sup>2</sup>	22,000 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>																																																		
事業費	<p>○再評価時総事業費 1,000 百万円 (単位: 百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>~22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>小 計</th> <th>26年度~</th> <th>合 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計 画</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>① 1,290</td> <td>265</td> <td>1,555</td> </tr> <tr> <td>(うち用地費)</td> <td>( )</td> <td>( )</td> <td>( )</td> <td>( )</td> <td>② ( 285 )</td> <td>( 74 )</td> <td>( 359 )</td> </tr> <tr> <td>(平成24年11月変更)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実 績</td> <td>857</td> <td>132</td> <td>100</td> <td>150</td> <td>③ 1,239</td> <td>316</td> <td>⑤ 1,555</td> </tr> <tr> <td>(うち用地費)</td> <td>( 339 )</td> <td>( 5 )</td> <td>( 13 )</td> <td>( 2 )</td> <td>④ ( 359 )</td> <td>( 0 )</td> <td>⑥ ( 359 )</td> </tr> </tbody> </table>						~22年度	23年度	24年度	25年度	小 計	26年度~	合 計	計 画					① 1,290	265	1,555	(うち用地費)	( )	( )	( )	( )	② ( 285 )	( 74 )	( 359 )	(平成24年11月変更)								実 績	857	132	100	150	③ 1,239	316	⑤ 1,555	(うち用地費)	( 339 )	( 5 )	( 13 )	( 2 )	④ ( 359 )	( 0 )	⑥ ( 359 )
	~22年度	23年度	24年度	25年度	小 計	26年度~	合 計																																														
計 画					① 1,290	265	1,555																																														
(うち用地費)	( )	( )	( )	( )	② ( 285 )	( 74 )	( 359 )																																														
(平成24年11月変更)																																																					
実 績	857	132	100	150	③ 1,239	316	⑤ 1,555																																														
(うち用地費)	( 339 )	( 5 )	( 13 )	( 2 )	④ ( 359 )	( 0 )	⑥ ( 359 )																																														

## 2 評価指標及び項目別評価

### (1) 事業の進捗状況

(A) ・ B ・ C

事業の進捗状況			計画全体に対する進捗	年次計画に対する進捗
	事業費割合 (うち用地費)		79.7 % [③/⑤] ( 100 % ) [④/⑥]	96.0 % [③/①] ( 126 % ) [④/②]
	主要工種 毎割合 (事業費)	改良工 ( 1,255百万円)	97.9 %	83.7 %
		舗装工 ( 300百万円)	3.3 %	85.0 %
		%	%	
説 明	今年度において用地進捗率100%を見込んでいることから、計画的に工事を進めていく必要がある。また、部分供用も含め、事業効果の早期発現を目指している。			
問題点・ 解決見込み	-			
事業効果 発現状況	(部分供用なし) 当該地区(現道部)において、全面通行規制を伴う路面冠水が過去(平成2年他)に発生する等、域内の抜本的な排水処理対策が求められていたことから、当該バイパスの排水流末と兼用する形で計画・設計された流末処理工が平成21年度に完了したことにより域内の排水問題が改善された。			

(2) 社会経済情勢の変化

(A) ・ B ・ C

社会的評価	全国・本県における評価	<p>【全国の評価】</p> <p>平成21年3月に閣議決定された「社会資本整備重点計画」では、地域社会の活力を維持し、豊かな暮らしを実現するため、また、安全で信頼性の高い社会の実現を図るために、選択と集中の方針の下、重点的・効率的に道路整備を進めていくことが必要とされている。</p> <p>従来の事業評価手法を見直し、道路における防災機能の位置づけを再検討する機運が高まっている。</p>	<p>【県内の評価】</p> <p>自動車交通への依存度が高い本県にとって、道路整備に対する根強い要望がある。</p> <p>東日本大震災(H23.3.11)を契機として、これまで道路に必要とされてきた通行機能に加えて、災害発生時の防災機能(緊急物資輸送や避難路等)確保の重要性が再認識されている。</p>	
	当地区における評価	平成13年度に旧東北町町長から、早期着手について要望が出されている。		
必要性	当該路線は県管理道であるため、県が事業主体となって整備する必要がある。また、当該工区の現道部は人家連担部(複数の取付道路が接続する状況)でありながら急勾配区間(Imax=7.0%)となっているため、隘路区間の解消が課題となっている。これらの課題解決のため、当該工区は県が定める社会資本総合整備計画(交流促進と連携強化を支援するあおりの道づくり)に基づき、人家連担部を回避するバイパスルートにより堆雪幅を含む車道幅員の拡幅、急勾配区間の解消、歩道整備を進めている。		a. b	
適時性	当該路線は東北新幹線七戸十和田駅、三沢空港等の交通拠点やむつ小川原工業地域への主要アクセス道路として位置付けられていることから、道路規格の不連続性を早期に解消し、通年を通じた走行安全性や定時性確保を図る必要がある。		a. b	
地元の推進体制等	今年度末には用地取得を完了する見込みであるなど事業に対する地元の理解が得られている状況下であることから、当該工区の早期完成が望まれている。また、東北町から当該工区の早期完成を要望されている。		a. b	
効率性	当該路線は旧東北町と旧上北町(平成17年3月合併)を結ぶ地域間交流の主要路線となっていることから、ボトルネック箇所となっている当該工区の早期完成は旧東北町と旧上北町との交流促進へ寄与するものである。また、交通拠点である東北新幹線七戸十和田駅やむつ小川原工業地域への主要アクセス道路としても位置付けられていることから、ボトルネック箇所の解消(当該工区の整備)により、企業を誘致するための条件の向上による雇用創出機会の増加、東北新幹線新青森駅開業と合わせた高速交通体系への広域的アクセスの向上が期待でき、さらに、交通拠点形成により本県の重要な観光資源である小川原湖の観光振興等が図られる。			

(3) 費用対効果分析の要因変化

(A) ・ B ・ C

区分	主な項目	再評価時	再々評価時	増減
費用項目(C)	(1) 事業費	957 百万円	1,734 百万円	777 百万円
	(2) 維持修繕費	159 百万円	125 百万円	△ 34 百万円
	(3)	百万円	百万円	0 百万円
	(4)	百万円	百万円	0 百万円
	(5)	百万円	百万円	0 百万円
	総費用	1,116 百万円	1,859 百万円	743 百万円
便益項目(B)	(1) 走行時間短縮便益	934 百万円	715 百万円	△ 219 百万円
	(2) 走行費用減少便益	119 百万円	155 百万円	36 百万円
	(3) 交通事故減少便益	-60 百万円	-36 百万円	24 百万円
	(4) 冬期便益	百万円	388 百万円	388 百万円
	(5) 防災便益	百万円	1,433 百万円	1,433 百万円
	総便益(B)	993 百万円	2,655 百万円	1,662 百万円
	地域修正係数(φ)	-	1.461	
	修正総便益(B')	- 百万円	3,879 百万円	3,879 百万円
費用便益比	費用便益比(B/C)	0.89	1.43	
	修正費用便益比(B'/C)	-	2.09	
費用対効果分析(B/C)	<p>【費用対効果分析手法】(分析手法、根拠マニュアル等)</p> <p>費用便益分析マニュアル(平成20年11月 国土交通省道路局、都市・地域整備局)</p> <p>道路整備事業における県独自の費用便益分析実施要綱(平成22年3月 県土整備部道路課)</p>			a. b
再評価時との比較	<p>【再評価時との比較における要因変化】</p> <p>交通量見直しによる上方修正(計画交通量2,445台/日→3,003台/日)</p> <p>検討年数の見直し(40年→50年、費用便益マニュアルの改正)</p> <p>車種別時間価値原単位の下方修正(費用便益マニュアルの改正)</p> <p>地域修正係数の新たな導入(平成22年3月)「南部地方生活圏1.461」</p>			a. b

## (4) コスト縮減・代替案の検討状況

(A)・B・C

コスト縮減	<b>【コスト縮減の検討状況】</b> 路盤材、舗装合材に再生材を使用し、経費の縮減を図っている。また、排水施設等の小規模構造物については、工場製品（二次製品）を使用することにより、工期の短縮及び経費の縮減を図っている。	a. b
代替案	<b>【代替案の検討状況】</b> 比較ルートとしては現道拡幅案が考えられるが、現道部沿線には補償対象となる家屋が数多く立地しているため、家屋移転などにより地住民生活に与える影響が大きく経済的にも不利となることや、現道部における排水系統の抜本的な改善（流末対策）が必要であったことから、実施中のバイパス案が最適である。	a. b

## (5) 評価に当たり特に考慮すべき点

(A)・B・C

住民ニーズの把握状況	<b>【住民ニーズの把握方法】</b> 旧東北町町長から当該地区の早期着手の要望が出されている。	<b>【住民ニーズ・意見】</b> 人家連担であるとともに、道路線形が悪く交通の隘路となっていることから、安全で円滑な交通の確保を図るため、早期のバイパス整備が求められている。	a. b
環境影響への配慮	<b>【開発事業等における環境配慮指針への対応】</b> (1)対応状況 ● 配慮している ○ 配慮していない (2)区分 ● 農林地等の緑地や植生の改変 ○ 地形や地盤の改変 ○ 水系や水辺の変更 ○ 海域環境の変更 ● 敷地整備段階での重機の使用 ● 土砂等の搬出・搬入 ● 廃棄物処理等 ○ 道路（車歩道）、雨水排水路の設置 ○ 基礎や地下建造物の建設 ○ 低層建築物の建設 ○ 高層建築物・大規模施設等の建設に係る環境配慮 ○ 高架構造物の建設 ○ 海底・海中建造物の設置や建設 (3)特に配慮する対応内容 工事及び土砂搬入・搬出の際には、周辺環境に配慮し、低排出ガス・低騒音並びに低振動の重機を使用する。 表土露出箇所については、景観保全や土砂流出に配慮し在来種等の植生対応を行う。 切土発生土を同一工区内の盛土工区に流用する。 産業廃棄物は再資源化施設へ搬入し、リサイクルに努めている。		a. b
地域の立地特性	(地域指定) 積雪寒冷地帯、半島振興地域、特別豪雪地帯 (災害の記録) なし (危険箇所情報) なし 東北新幹線七戸十和田駅開業（平成22年12月） むつ小川原工業地域へのアクセス道として位置付けられている。		

## 3 対応方針(事業実施主体案)

総合評価	● 継続 ○ 計画変更 ○ 中止 ○ 休止
評価理由	全ての項目が「A」評価であるほか、交通拠点である東北新幹線七戸十和田駅やむつ小川原工業地域へのアクセス道路として位置付けられていることから、着実に事業を推進し早期に事業効果発現を図る必要があるものとし、対応方針を「継続」とした。
備考	

## 4 公共事業再評価等審議委員会意見

委員会意見	● 対応方針（案）どおり ○ 対応方針（案）を修正すべき
委員会評価	● 継続 ○ 計画変更 ○ 中止 ○ 休止
附帯意見	(附帯意見がある場合に記載)
評価理由	(委員会意見が「対応方針（案）を修正すべき」の場合に記載)